



(上図説明)

共通している4員環構造がβラクタム環。

隣接する環が5員環はペニシリン(ペナム系)。6員環はセフェム系。

隣接環の5員環に二重結合があるとペネム系、ないとペナム系。

隣接環にあるSがOに代わるとオキサ、Cに代わるとカルバの接頭語がつく。

セファロsporin系、セファマイシン系、オキサセフェム系を総称してセフェム系と呼ぶことが多い。

セフェム系化学構造の第3と7位の2カ所に側鎖を導入することが可能で、その違いによって抗菌力、βラクタマーゼ安定性、体内動態などの特徴が作られる。

βラクタム環のみの製剤をモノバクタムという。